

第1回、第2回ワークショップとりまとめ

下線: 2テーブル以上あった意見 / 青文字: 第1回、黒文字: 第2回

わかりやすく、利用しやすく、安全な施設

新しい複合庁舎に求められる空間イメージ

拠点全体に求められる機能・空間イメージ

<わかりやすい施設づくり>

- 各機能が庁舎のどの場所にあればいいのか、検討が必要
- 行政サービスの窓口空間は見渡しのよい方が利用しやすい。
- 区役所の各部署の役割をわかりやすく案内してほしい。

<利用しやすい空間構成・空間規模>

- 役所の窓口や区民センター等、市民の利用頻度が高いものは低層部に配置してほしい。
- フレキシブルな執務空間が望ましい。ロビー、イベントとの連携も可能になる。
- 福祉や年金課等の相談窓口の待合スペースは、現状の2倍程はほしい(現状はとても混雑している)。
- 駅地下と庁舎は直結することに意味があると思うので、分離させないでほしい。
- バリアフリーはスロープのみでは不可
- レストランやカフェは庁舎の中にほしい。
- 広いレストランがほしい。(現在の食堂はいつも混雑している。)

<災害に強い施設づくり>

- 災害時の避難スペース(市民スペースと兼ねる)の確保が必要
- 広場空間は災害時の防災拠点として、幹線道路沿いの位置に配置
- 備蓄機能を持つ拠点が必須
- 白石で高層化する場合は、耐震性を十分に考慮すべき。

<周辺に影響を与えない駐車・駐輪場>

- 駐車場は駅前の渋滞に影響しないよう、現段階の計画の位置で良い。
- 環状通と南郷通が渋滞にならないような工夫が必要
- 駐車台数はゆとりを持って整備したほうがよい。
- デパートのように、駐車券の発行等のシステムが必要
- 駐輪場は有料でも良い。
- 駐輪場の規模が十分ないと路上駐輪が増えてしまう。
- 団体バスを止められるスペースが必要

- 子どもの一時預かり施設があると便利である。

<交通利便性の確保>

- 地下鉄からの連絡通路を確保してほしい。
- 地下鉄駅との接続を生かした地下空間の活用が必要
- 公共交通の利便性、アクセス性の確保が必要
- 駐輪場などから地下鉄への乗り継ぎがスムーズにできるような工夫が必要

<公民一体の便利な空間づくり>

- 庁舎と民間施設が、ロビーやカフェ等で緩やかにつながっているイメージにしたい。
- イベントスペースとロビー空間をわかりやすく一体化してほしい。
- 車椅子利用者の視点では、各施設がすべて繋がってほしい。
- 民間に行政サービスをサポートする機能が必要
- 地下鉄直結を生かし会社や学校帰りに深夜でも利用できる店(本屋、CD屋など)
- クリニック、生鮮食料品・日用品店・ATMなどの便利施設がほしい。

ゆとりとアメニティの高い空間

<ゆとり空間が必要>

- 区役所の中で、広場などのゆとりの空間の確保が重要
- 庁舎は高層化して、その分オープンスペースを確保したい。
- 庁舎前広場の確保、広場側バルコニーを舞台として利用したい。
- 保育・区窓口を配置すると1階は面積に余裕がない。

- 駐車場は屋上や地下にし、建物を高層化する等の工夫で、地上に広場スペースや吹き抜け空間などを創出する。
- 高低差のある敷地の特性を生かして、半地下の駐車場はどうか。

<環境に配慮した庁舎づくり>

- 自然エネルギーの活用
- 駐車場の出入りに発電機を。

<緑や憩いの空間づくり>

- 屋上を青空広場にとすると保育園も配置できるのでは。
- お年寄りやゆったりと憩えるレイアウト、インテリアが必要
- 図書館は上層に配置し静かに本が読めるスペースとなればよい。
- 誰でも来られる公園的な空間

- 室内であっても自然光の入る空間、吹き抜け空間など、明るく緑のある空間があるとよい。(東久留米市庁舎(第一回資料)・札幌ファクトリーのロビー等)

- 植栽を充実させる等、ゆとりある空間づくりを目指したい
- 区の花ツルバラの活用や、落ち葉対策として針葉樹もよい。
- 交差点部等に効果的な緑を配置すべき。
- 公園と緑を結びネットワークづくり

<民間の協力によるゆとりづくり>

- 区役所にある食堂や区民センター(指定管理者制度含む)を、民間施設内に作れば、区役所のスペースがより有効利用できる。
- 現段階の計画では、民間スペースが広すぎる。オープンスペースがとれていないのが気になる。
- そもそも民間は必要か。その分公共の面積が狭くなっている。
- 駅周辺には駐車場が少ないので民間施設の中身如何では駐車場が大規模になる。

<将来を見据えた施設計画>

- 50年先まで見据えて、増築などができるような余裕をもたつくりをしたい。

区民交流(縁づくり)の拠点

<多世代交流を促す工夫>

- 世代間交流、地域・団体の交流の場が必要
- 年齢層関係なくふれあえる施設が必要
- 若者が地域と交流をもつきっかけとなるような場(人)が必要
- 若者が集まれる「無料で」「立ち寄り」ことのできる拠点がほしい。
- DVD コーナーなど若者向けの機能も必要
- 若者はインターネットで用事をすましてしまい情報交流の場を必要としていないのでは。
- インターネットなど画面上の情報は、生の情報とは言えない。対面的な交流を行う場が必要

<多様な交流形態が可能な施設づくり>

- 利用層を増やすため5万冊ほどの図書コーナーがほしい。
- 打合せできる喫茶店がほしい。

- レイアウト等に多様性のある、多機能なホールがあれば便利である。(椅子の収納など)
- 広さとしては現在の区民ホールの2倍程度あるとよい。(現在以上の水準を確保)
- 学生、障害者、子ども等の市民スペースが必要
- ロビー、イベントスペースは土日でも使用できる空間としてほしい。
- 運営方法(時間帯、料金等)の見直しにより使い勝手の良い区民センターにすべき。

- 学習スペースの確保
- 福祉支援のための研修スペース確保

<公共ではできない施設を民間に！>

- 民間施設に飲食も可能な大型ホールがほしい。
- ステージ付きの大きな多目的ホールがほしい。

- ふるさと祭の今後を懸念している。代替スペースが必要
- 区役所跡地は今後どうなるのか。

白石のまちづくり活動と、まちの活性化拠点

<文化伝承の場の提供>

- 「白石亭」にある歴史資料の展示スペースや交流スペースが、新庁舎の見えやすい場所にほしい。
- 白石の歴史を知ることが出来る機能があるとよい。

<地域交流を促進し、まちを活性化させる>

- 就職年代を対象にした現代版でっち奉公を開催し、若者と地域の交流を促す。
- 善俗堂のようなイベントの開催

- 子ども体験コーナー(民間との連携等)
- 学生等の作品展示スペース

- ICC レンタルオフィスの様な施設を。
- NPO 活動スペースを。
- 社会福祉協議会の事務所等

- 地域の人が働ける場の確保

- 文化、歴史の伝承、情報発信の場を確保(郷土資料館など)

<白石のタウンプロモーションを行う拠点>

- 街全体の商業活性化に資する機能を導入すべき。
- 地域全体をつなげるような空間が必要
- 一般利用者の動線付近にイベントや街の活動が見える空間があるとよい。
- 定期的にイベントが開催できる広場がほしい

<周辺地域と調和したまちづくり>

- 商業施設が立地する場合は、周囲の既存の商業施設とのバランスが大切になる。
- 商業施設の併設による活気づくりが必要
- 集客だけを目的としたデパートのような施設は必要ない。(交通渋滞の発生)
- ロビー、イベントスペースは土日でも使用できる空間としてほしい。

その他の意見

■白石区複合庁舎基本計画 第2回区民ワークショップ結果

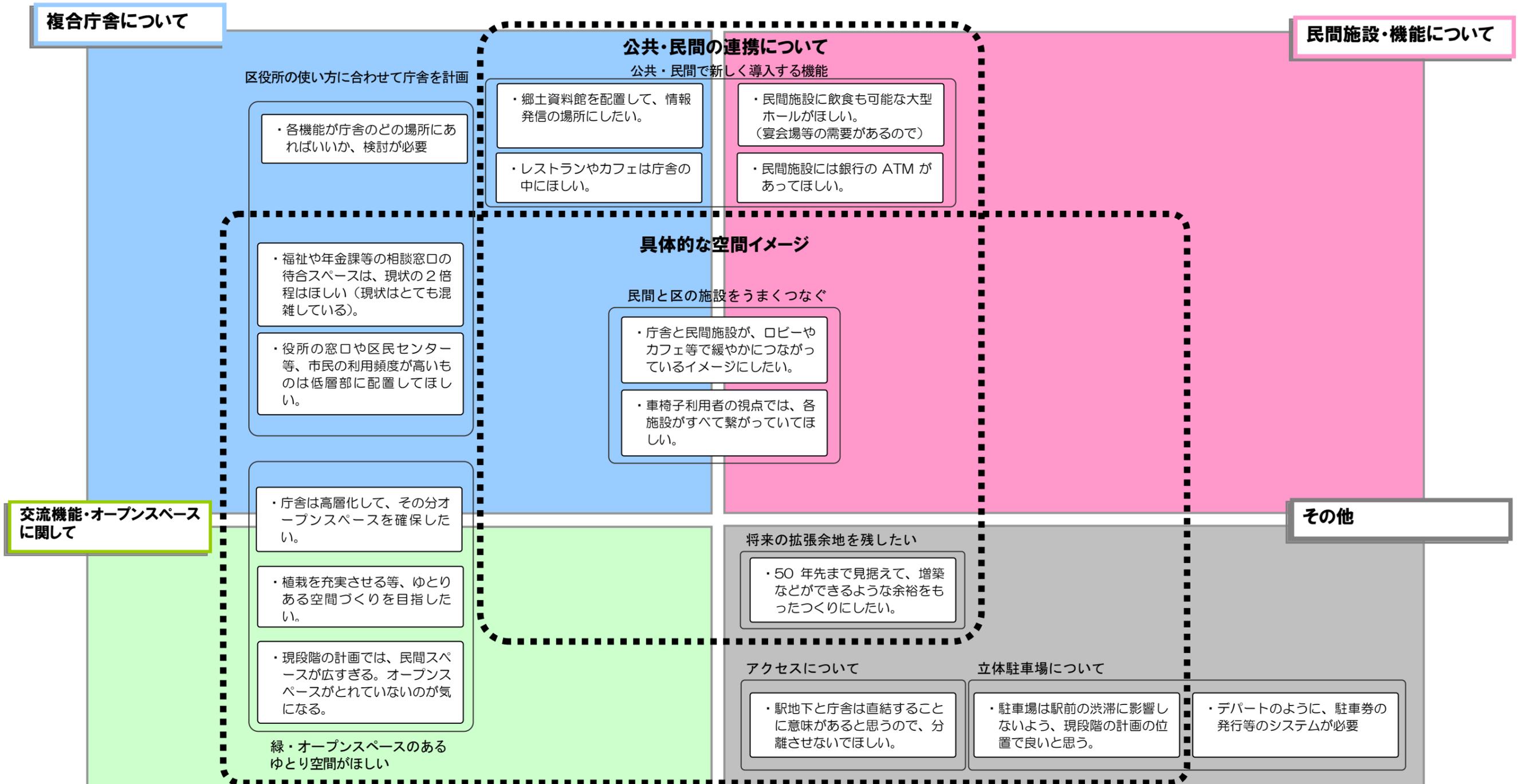
- ・ 日程：2月12日（土）14:00～17:00
- ・ 場所：白石保健センター2階講義室
- ・ 第2回テーマ：『新しい庁舎と拠点の機能や空間イメージを考えよう①』
- ・ 配布資料：開催プログラム、来庁者アンケート結果、区役所・区民センター案内図、ちあふるしろいし要覧、第1回ワークショップとりまとめ、各施設の概要説明
- ・ 提示資料：模型、パワーポイント、第1回パワーポイント資料、第2回パワーポイント資料、住宅地図、白地図、白石区ガイド、現在地と計画地の比較、第1回の模造紙

『Aグループの成果概要』

まとめ

公共と民間が機能的にも空間的にも繋がりをもち、補完し合う施設にしたい

庁舎と民間がそれぞれ独立してあるのではなく、空間においても機能においても緩やかに繋がってほしい。特に民間には、カフェやレストラン、大型ホール等、市民に需要のある新たな機能を補完してほしい。



- ・ 日程：2月12日（土）14:00～17:00
- ・ 場所：白石保健センター2階講義室
- ・ 第2回テーマ：『新しい庁舎と拠点の機能や空間イメージを考えよう①』
- ・ 配布資料：開催プログラム、来庁者アンケート結果、区役所・区民センター案内図、ちあふるしろいし要覧、第1回ワークショップとりまとめ、各施設の概要説明
- ・ 提示資料：模型、パワーポイント、第1回パワーポイント資料、第2回パワーポイント資料、住宅地図、白地図、白石区ガイド、現在地と計画地の比較、第1回の模造紙

『Bグループの成果概要』

まとめ

公共と民間の連携による機能の分担と、ゆとりの空間の創出

現在と比べて公共面積が小さくなるのに、民間施設を導入する必要があるのか。導入するのであれば公共と機能連携をし、区民センターなど一部民間が担うという手段もある。その際に公共側に生まれた「ゆとり」は交流広場として快適な空間に設え、活用すべき。

複合庁舎について

庁舎建築の課題

- ・ 白石で高層化する場合は、耐震性を十分に考慮する必要がある。コストもかかる。
- ・ 長期的な使い方を考えるべき。

庁舎の課題：面積に余裕がない

- ・ 現在の課が全て配置できるのか懸念している。
- ・ 保育・区窓口を配置すると1階は面積に余裕がない。

具体的な空間イメージ

多様性のある機能（図書館）

- ・ 利用層を増やすため5万冊ほどの図書コーナーがほしい。

- ・ 図書館は上層に配置し静かに本が読めるスペースとなればよい。

- ・ DVDコーナーなど若者向けの機能も必要

- ・ 子どもの一時預かり施設があると便利である。

面積の効果的な使い方が必要

- ・ 屋上を青空広場にすると保育園も配置できるのでは。

- ・ フレキシブルな執務空間が望ましい。ロビー、イベントとの連携も可能になる。

- ・ 区役所の中で、広場などのゆとりの空間の確保が重要

- ・ お年寄りがゆったりと憩えるレイアウト、インテリアが必要

交流機能・オープンスペースに関して

歴史・文化の伝承の場

- ・ 「白石物語」を利用することで白石の歴史を知ることが出来る機能があるとよい。
- ・ ふるさと祭の場所はどうか。（広場を分散させての開催は不可）
- ・ 区役所跡地は今後どうか。ふるさと祭の今後は懸念している。

発表・展示の場

- ・ 一般利用者の動線付近にイベントや街の活動が見える空間があるとよい。
- ・ イベントスペースとロビー空間をわかりやすく一体化してほしい。
- ・ ロビー、イベントスペースは土日も使用できる空間としてほしい。

交流の場

- ・ 世代間交流、地域・団体の交流の場が必要
- ・ 地域全体をつなげるような空間が必要
- ・ 若者が地域と交流をもつきっかけとなるような場（人）が必要
- ・ 現代版でっち奉公を開催し若者と地域の交流を促す。

快適な空間

- ・ 室内であっても自然光の入る空間、吹抜け空間など、明るく緑のある空間があるとよい。（東久留米市庁舎（第一回資料）・札幌ファクトリーのロビー等）

ホール

- ・ レイアウト等に多様性のある、多機能なホールがあれば便利である。（椅子の収納など）

情報発信機能としての広場

- ・ 若者はインターネットで用事をすませてしまい情報交流の場を必要としていないのでは。
- ・ インターネットなど画面上の情報は、生の情報とは言えない。生の情報を発信・受信する場が必要
- ・ 現在は情報発信の場が乏しい。

民間施設・機能について

公共・民間の連携について

- ・ 民間に行政サービスをサポートする機能があるとよい。

- ・ 区民センター機能は指定管理者等により民間施設側で作ればよい。

- ・ 子どもの一時預かり施設があると便利である。

- ・ お年寄りがゆったりと憩えるレイアウト、インテリアが必要

- ・ そもそも民間は必要か。その分公共の面積が狭くなっている。

周辺用途に配慮した民間機能

- ・ 周辺と同じような用途を導入しても意味がない。

- ・ 街全体の商業活性化に資する機能を導入すべき。

その他

駐車場

- ・ 駐車台数はゆとりをもって整備したほうが良い。

- ・ 日程：2月12日（土）14:00～17:00
- ・ 場所：白石保健センター2階講義室
- ・ 第2回テーマ：『新しい庁舎と拠点の機能や空間イメージを考えよう①』
- ・ 配布資料：開催プログラム、来庁者アンケート結果、区役所・区民センター案内図、ちあふるしろいし要覧、白石亭に関する資料、第1回ワークショップとりまとめ、各施設の概要説明
- ・ 提示資料：模型、パワーポイント、第1回パワーポイント資料、第2回パワーポイント資料、住宅地図、白地図、白石区ガイド、現在地と計画地の比較、第1回の模造紙

『Cグループの成果概要』

まとめ

空間の有効活用によって、多年代が立ち寄れる広場空間をつく

若者から高齢者まで多年代が集まることができ、災害時の防災拠点ともなる地域の広場的な空間が必要である。そのために民間施設と役割分担しながら、駐車場の配置も工夫をし、ゆとり空間を創出することが求められる。

複合庁舎について

庁舎建築の課題

- ・ 行政サービスの窓口空間は見渡しのよい方が利用しやすいので、十分な空間の大きさが必要

公共・民間の連携について

- ・ 区役所にある食堂や区民センターを、民間施設側で作れば、区役所のスペースがより有効利用できる。

民間施設・機能について

- ・ そもそも民間施設がこの場所に求められているのかという根本的な議論も必要では。

商業施設が立地するとすれば

- ・ 地下鉄駅の直近に位置しているため、会社や学校帰りに深夜でも利用できる店（本屋、CD屋など）があると便利
- ・ 商業施設が立地する場合は、周囲の既存の商業施設とのバランスが大切になる。
- ・ 大規模な商業施設は、立地を考えると採算的に難しいのではないかと。

具体的な空間イメージ

地域の歴史性を感じる空間

- ・ 「白石亭」にある歴史資料の展示スペースや交流スペースが、新庁舎の見えやすい場所にほしい。

交流機能・オープンスペースに関して

- ・ ふるさと祭りを開催している場所がなくなってしまうので代替スペースが必要では。

広場空間の位置・空間イメージ

- ・ 広場空間は災害時の防災拠点として、外からわかりやすい幹線道路沿いの位置に必要
- ・ 白石区は若者の活動が盛んであるが、集まれる場所がない。多年代が特定の目的がなくても「無料で」「立ち寄り」ことのできる拠点がほしい。
- ・ 若者が立ち寄りやすい場所とは、使い方が自由な、体育館「的」な場所である。
- ・ 広さとしては現在の区民ホールの2倍程度あるとよい。

駐車場の位置の工夫による地上空間の創出

- ・ 地下鉄駅との接続を生かした地下空間の活用が必要
- ・ 駐車場は屋上や地下にし、建物を高層化する等の工夫で、地上に広場スペースや吹き抜け空間などを創出する。

- ・ 高低差のある敷地の特性を生かして、半地下の駐車場はどうか。

地上-地下を円滑に繋ぐ空間

- ・ 駐輪場などから地下鉄への乗り継ぎがスムーズにできるような工夫が必要である。

駐輪場の規模

- ・ 駐輪場の規模が十分ないと路上駐輪が増えてしまう。

駐車場の規模と配置

- ・ 環状通と南郷通が渋滞にならないような工夫が必要である。
- ・ 駅周辺には駐車場が少ないので民間施設の中身如何では駐車場が大規模になる。

その他

- ・ 駐輪場は施設利用者だけでなく駅利用者も使うので相応の大きさが必要